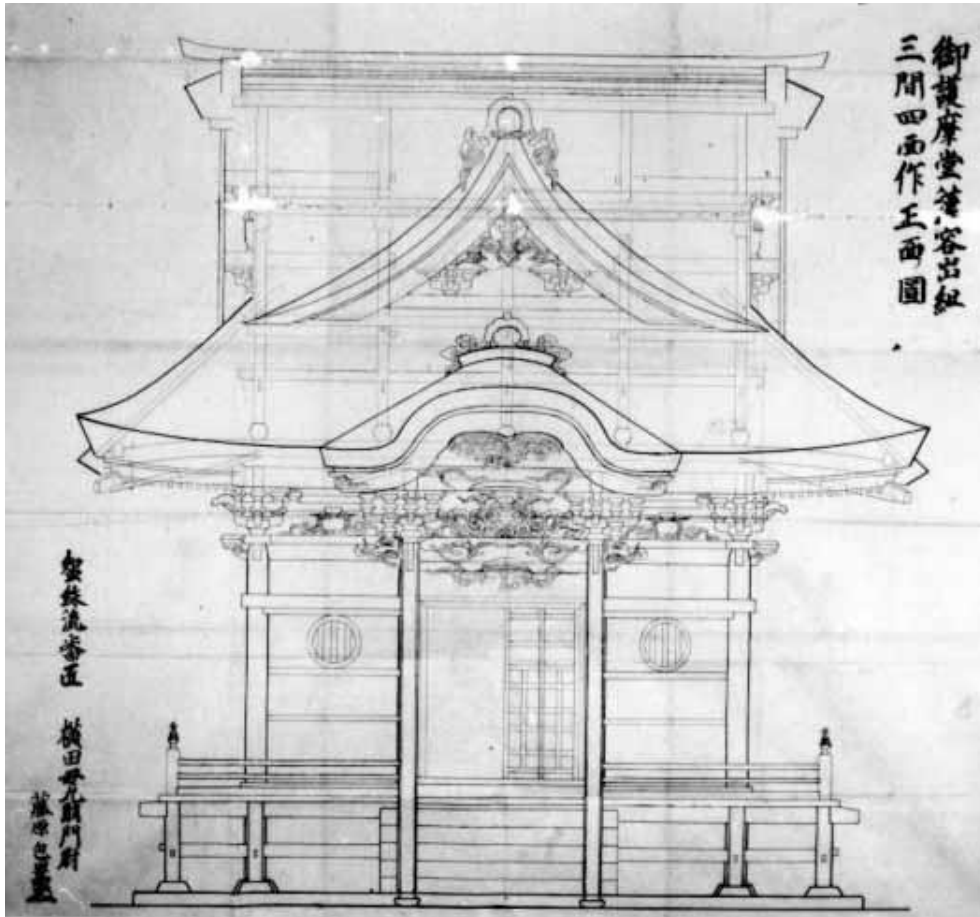


田村市指定有形文化財

よこた けだいくもんじょ

横田家大工文書



田村市滝根町広瀬地区に所在する横田家は、江戸時代後半から明治時代にかけて、6代にわたり大工の棟梁をつとめた家です。その横田家が所有する文書は大工文書・行政文書あわせて1180紙あり、当時のこの地方の大工という職業実態や経済・政治の一側面を明らかにしてくれる貴重な資料です。

旧三春藩領内を中心に横田棟梁が関与した建築は、寺院25寺28棟、神社23社26棟、住宅ほか20棟の合計74棟におよび、平成30年3月に市教育委員会で出版した『蜘蛛流大工棟梁 横田杵左衛門の遺産 一横田家大工文書の研究一』は、そのうち現存する建物と大工関係文書859紙の内容を比較検討した調査報告書になっています。